

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	キャリアデザイン					科目	キャリアガイダンスⅠ
クラス又は班	1年1組	1年2組	1年3組	1年4組	1年5組	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
生徒の進路実現を目指し、適性や職種に興味・関心を抱かせ、自己理解と進路意識を高めさせる。	コミュニケーション力、自己表現力、集中力、忍耐力や、挨拶や言葉遣い、話を聞く態度などの礼儀作法といった、将来、職業生活をしていく上で必要とされる能力の育成をはかる。	出席、課題の取り組み・提出状況

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数		
			知	思	態			
1 学期	4	進路活動 CGオリエンテーション	○	○	○	20		
	5	職業指導 高校生活における進路活動 社会的・職業的自立支援教育プログラム 職種や進路先①グループワーク	○	○	○			
			6	自己理解 学力診断テスト 適性検査の受検 1学期の振り返り	○		○	○
	7	自己理解 自分の適性や興味・関心			○		○	○
			2 学期	9	職業理解 職種や進路先②企業ワークショップ 社会人に求められるもの		○	○
	10	職業指導 模擬的企業活動① 自主性、積極性、自己表現力の育成 就職対策指導		○	○		○	
11				職業指導 模擬的企業活動② 職業の選択 就職対策指導	○	○	○	
	12	進路活動 ものづくり人材育成講習会			○	○	○	
3 学期				1	進路活動 2年次系列説明会 課題研究発表会	○	○	○
	2	進路活動 1年の振り返り インターンシップの概要 インターンシップの職種と希望		○	○	○		
			3	進路活動 1年の振り返り インターンシップの概要 インターンシップの職種と希望	○	○	○	
						年間予定授業時間数	70	

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○授業に対して積極的に取り組んでいる ○外部講師や企業の方と接する際の礼儀作法を身につけている。 ○資料の中からの的確に情報を収集することができる。 ○自身の考えを指定された様式で書き表すことができる。
備考	朝学習として、月曜日から金曜日の朝10分間授業(週5回)を含む。

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	外国語					科目	英語コミュニケーション I
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	VISTA English communication I It's OK!

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
日本の高校生としてコミュニケーションをとるのに必要な単語の知識、および正確に聞き取ったり読んだりする技能を身につける。	日本の高校生としてコミュニケーションをとるのに必要な表現力、聞きとる力を身につける。	日本の高校生としてコミュニケーションをとる際に、わからないことがあっても話すこと、読むこと、聞くことを継続しようとしている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4 Get Ready!1~Get Ready4	・アルファベットやClassroom English について ・挨拶や基本的な指示に対する適切な答え方	○	○	○	35
	5 Lesson1 Colors of Spring	・be動詞・一般動詞の現在形 ・色/春について、自分の考えを話して伝え合う ・Listening test/Speaking test	○	○	○	
	6 Lesson2 Dick Bruna	・be動詞・一般動詞の過去形 ・ディック・ブルーナについて、自分の考えを話して伝え合う ・Listening test/Speaking test	○	○	○	
	7 確認テスト 1学期の復習	・文法の復習	○	○		
2 学期	9 Lesson3 Interesting Sports	・現在進行形・過去進行形 ・馴染みのないスポーツについて、自分の考えを話して伝え合う	○	○	○	45
	10 Lesson3 Interesting Sports 中間確認テスト	・Listening test/Speaking test	○	○	○	
	11 Lesson4 Pictograms	・助動詞・動名詞 ・ピクトグラムについて、自分の考えを話して伝え合う ・ピクトグラムについて、理解を深める ・Listening test/Speaking test	○	○	○	
	12 確認テスト 2学期の復習	・文法の復習	○	○		
3 学期	1 Lesson5 We Are Part of Nature	・不定詞 ・動物と自然について、自分の考えを話して伝え合う	○	○	○	25
	2 Lesson5 We Are Part of Nature	・動物と自然について、理解を深める ・Listening test/Speaking test	○	○	○	
	3 学年末確認テスト					

年間予定授業時間数

105

評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 音読課題・Listening test・Speaking test・確認テスト 授業への参加態度 課題提出状況 授業の振り返り状況 <p>以上の4項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	芸術					科目	音楽 I
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	MOUSA1

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4 楽しく歌おう	姿勢を正しく(ストレッチ)	○	○	○	28
	5 声を磨こう	ボイストレーニング 表情筋トレーニング 目、鼻、のどを開く 声を響かせる	○	○	○	
	6 声を磨こう	ボディマップ	○	○	○	
	7 ハーモニーを楽しもう	全体の響きを感じる	○	○	○	
2 学期	9 音楽の仕組みを理解しよう	楽曲、リズム、メロディー、ハーモニー、etc	○	○	○	30
	10 アンサンブルをしよう	キーボード、ギター 正しい奏法(運指)を身に付ける	○	○	○	
	11 人間と音楽との関係について考察しよう	日本の音楽、世界の諸民族の音楽	○	○	○	
	12 ボイスアンサンブルを楽しもう	リズムを音声において感じる	○	○	○	
3 学期	1 合唱の楽しみ	自分の声を磨く 全体の響きを感じる	○	○	○	12
	2 アカペラ曲	表現	○	○	○	
	3 アカペラ曲	歌詞の内容にあった表現の工夫をする	○	○	○	

年間予定授業時間数

70

評価の方法	音楽文化を尊重し、主体的・創造的に音楽の学習的に取り組もうとしているか 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもって創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表しているか 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっているか
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	芸術					科目	工芸 I
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	工芸 I

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
①対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ②創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて制作方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考えるとともに、思いや願いなどから発想や構想を練ったり、工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	工芸や工芸の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数		
			知	思	態			
1 学 期	オリエンテーション 工芸の概要について	教科書、授業、評価についての説明				24		
		一年間に行う制作の内容とその意義について	○	○	○			
	5 レザークラフトの製作①	レザークラフトの図案の考案						
		皮製品について	○	○	○			
6 レザークラフトの製作②	皮の種類についての考案 作品の制作				○	○	○	
7	レザークラフトの製作③	作品の制作	○	○	○			
2 学 期	9 木彫の製作①	木彫に適した図案の考案				28		
		彫刻刀の使い方	○	○	○			
	10 木彫の製作②	レリーフの技法						
		木の特徴と加工技術	○	○	○			
11 石彫(てん刻)の製作①	てん刻の基礎知識				○	○	○	
	道具の使い方							
12 石彫(てん刻)の製作②	石の基礎知識				○	○	○	
	図案の考察							
3 学 期	1 七宝焼き①	七宝焼きの図案の考案				18		
		作品の制作①	○	○	○			
	2 七宝焼き②	作品の制作②	○	○	○			
3	七宝焼き③	作品の仕上げと出来栄評価	○	○	○			
						年間予定授業時間数	70	

評価の方法	アイデアを十分に練り、アドバイスを受け自分なりにアレンジしていったか 主体的に制作に取り組んだか、豊かな発想か、技能を身につけ工夫できたか、 技能を身につけ工夫できたか、創造活動を楽しみ自分らしい表現ができたか その他、総合的に判断して評価する。
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	芸術					科目	美術 I
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	高校生の美術

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
①対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ②意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学 期	4 オリエンテーション 高校の美術	教科書、授業、評価についての説明				28
		一年間に行う制作の内容とその意義について	○	○	○	
	5 点描(ボールペンによる単色表現)①	表現したい図案の考察				
		ボールペンの種類・特性	○	○	○	
		モノクロの美しさについて				
	6 点描(ボールペンによる単色表現)②	光と影の関係性について				
		明暗と濃淡の表現方法	○	○	○	
7 点描(ボールペンによる単色表現)③	構図の工夫					
	計画性を持ち持続性を養う	○	○	○		
2 学 期	9 寄木製作①	木の持つ性質を知る				30
			○	○	○	
	10 寄木製作②	安全かつ正しい道具の扱い方				
			○	○	○	
11 寄木製作③	実用性のあるデザインの工夫					
		○	○	○		
12 寄木製作④	独創的な立体物の形成					
	木の特徴を生かした加工方法	○	○	○		
3 学 期	1 繰返し模様①(平面構成)	アイディアスケッチ				12
		配色の工夫と考察	○	○	○	
	2 繰返し模様②(平面構成)	デザインの展開				
		ポスターカラーの特性について	○	○	○	
	3 繰返し模様③(平面構成)	丁寧な細工・仕上				
		平塗技法の習得	○	○	○	
年間予定授業時間数						70

評価の方法	アイディアを十分に練り、アドバイスを受け、自分らしさを表現できたか 主体的かつ計画的に制作に取り組んだか、豊かな発想・技能を身につけ工夫できたか、 技能を身につけ工夫できたか、創造活動を楽しみ個性を打ち出すことができたか その他、総合的に判断して評価する。
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	工業(キャリア技術科)					科目	工業技術基礎
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	工業技術基礎

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
ものづくり技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	ものづくり技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	ものづくり技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4	メタルⅠ(鋳造技術)	鋳造技術の基礎知識			44
			○	○	○	
	5	メタルⅡ(金属加工)	やすりを使った金属加工方法			
			○	○	○	
	6					
	7	電気工事	電気工事の基礎 電線の被覆のはぎ取り方・基本的な接続方法			
			○	○	○	
2 学期	9					64
	10	電気基礎	電子工作の基礎 電気回路の基本技術			
			○	○	○	
	11	デザイン基礎	アクリル絵具による表現技術 デザイン絵具の基本的な使い方			
			○	○	○	
	12					
3 学期	1	インテリア基礎	木の特徴を生かした製品加工 使用具の基礎的な知識や技術について			32
			○	○	○	
	2					
	3	※ 上記の6項目をローテーションして実習形式の授業を行う				

年間予定授業時間数

140

評価の方法	<p>1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等)</p> <p>2.技能・技術(到達度、作品や課題の出来ばえ、創意工夫)</p> <p>3.報告書(内容、提出状況)</p> <p>以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		工業科					科目	製 図		
クラス又は班		11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材		
担 当 者							2	実教出版 製図		
教科・科目のねらい(目標)										
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【主体的に学習に取り組む態度等】				
製図に関する事象について、基本的な概念や基礎的な知識を理解し、読図・作図の技能を身につけている。			製図に関する事象について、論理的に考えたり、分析したりして、総合的に判断できる。また、その過程や結果および考え方を的確に表現できる。			製図に関する事象について関心をもち、主体的・協働的に取り組む態度を身につけようとする。				
学期(月)	指 導 項 目	指 導 内 容	評価基準			予 定 時 数				
			知	思	態					
1 学 期	4	製図を学ぶにあたって	製図の役割・歴史について	○	○	○	24			
		製図用具	製図用具の名称、使い方について	○	○	○				
	5	図面に用いる文字	図面に用いる文字や記号の書き方について	○	○	○				
			基礎製図練習ノート等を用いた練習	○	○	○				
	6	線	線の種類と使い方について	○	○	○				
			基礎製図練習ノート等を用いた練習	○	○	○				
	7	平面図形の書き方	基礎的な図の書き方	○	○	○				
		直線と円弧を用いた線のつなぎ方	○	○	○					
2 学 期	9	ケント紙を使用した製図法	ケント紙に文字・数字・線を書く練習	○	○	○	28			
				○	○	○				
	10	立体を平面で表す方法	投影法の練習(フリーハンドによるかき方)	○	○	○				
			投影法の練習(製図用具によるかき方)	○	○	○				
	11	立体を平面で表す方法	等角図の練習(フリーハンドによるかき方)	○	○	○				
			等角図の練習(製図用具によるかき方)	○	○	○				
12	基礎製図検定に向けた問題解決	過去の基礎製図検定問題の練習	○	○	○					
3 学 期	1	基礎製図検定に向けた問題解決	過去の基礎製図検定問題の練習	○	○	○	18			
	2	基礎製図検定に向けた問題解決	過去の基礎製図検定問題の練習	○	○	○				
	3	基礎製図検定に向けた問題解決	過去の基礎製図検定問題の練習	○	○	○				
							年間予定授業時間数		70	
評価の方法		1.知識・技能(到達度、作品や課題の完成度など) 2.思考・判断・表現(作図中の用具の選択、創意工夫など) 3.主体的な学習に取り組む意欲・態度(出欠・遅刻の状況、集中度、忘れ物、提出物など)								
備 考		※1クラス2展開(小人数)で授業を行う								

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	工業					科目	工業情報数理
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	実教出版 工業情報数理

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技術を身につけている。	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。	情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学期	4	工業の数理的な基礎計算	計算の順序について復習および確認(学び直し)	○	○	○	
		産業社会と情報技術	情報と生活、コンピュータの特徴	○	○	○	
		コンピュータの基本操作	パソコン・タブレットの基礎知識	○	○	○	
	5	工業数理基礎(面積・体積)	いろいろな形状の面積・体積の計算 単位と数理処理	○	○	○	
		産業社会と情報技術	情報化と発展と産業社会	○	○	○	
		コンピュータの基本操作	パソコン・タブレットの基礎知識	○	○	○	
	6	工業数理基礎(工業事象)	単位と数理処理 実験と数理処理	○	○	○	
		産業社会と情報技術	情報化社会の権利とモラル、情報のセキュリティ対策	○	○	○	
		コンピュータの基本操作	パソコン・タブレットの基礎知識	○	○	○	
	7	確認テスト	1学期確認テスト(1学期学習した内容から出題)	○	○	○	
			答案返却	○	○	○	
		コンピュータの基本操作	パソコン・タブレットの基礎知識	○	○	○	
2 学期	9	情報技術の活用と問題の発見	マルチメディアとプレゼンテーションまで	○	○	○	
		数理処理	データの表し方(基数変換)	○	○	○	
		アプリケーションの基本操作	ワードの使い方	○	○	○	
	10	プログラミングの基礎	プログラミング言語から流れ図とアルゴリズムまで	○	○	○	
		数理処理	データの表し方(基数変換)	○	○	○	
		アプリケーションの基本操作	文章の編集	○	○	○	
	11	プログラミングの基礎	プログラミング①	○	○	○	
		数理処理	データの表し方(論理回路)	○	○	○	
		アプリケーションの基本操作	日本語ワープロ検定3・4級の受験指導	○	○	○	
	12	確認テスト	2学期確認テスト(2学期学習した内容から出題)	○	○	○	
			答案返却	○	○	○	
		アプリケーションの基本操作	日本語ワープロ検定3・4級の受験指導	○	○	○	
3 学期	1	プログラミングの基礎	プログラミング②	○	○	○	
		ハードウェア	データの表し方(論理回路)	○	○	○	
		アプリケーションの基本操作	日本語ワープロ検定3・4級の受験指導	○	○	○	
	2	プログラミングの基礎	プログラミング③	○	○	○	
		ハードウェア	論理回路の基礎	○	○	○	
		アプリケーションの基本操作	文書作成、表計算ソフトの扱い方	○	○	○	
	3	学期確認テスト(一年間学習した内容から出題)					

年間予定授業時間数

105

評価の方法	1.知識・技能(学期末確認テスト) 2.思考・判断・表現(小テスト) 3.主体的な学習に取り組む意欲・態度(提出物)
備考	※1クラス2展開で授業(座学)を行う ※パソコン・タブレットの使用(実技)は全員で授業を行う

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	国語					科目	現代の国語
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	新編 現代の国語 (第一学習社) 書きたくなるアシスト常用漢字 (数研出版)

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
中学校の範囲を学びなおし、職業人として必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4	随筆	○	○	○	35
		漢字の読み書き	○		○	
	5	評論文	○	○	○	
		情報の探索と選択		○	○	
		漢字の読み書き	○		○	
	6	情報の探索と選択		○	○	
		評論文	○	○	○	
漢字の読み書き		○		○		
7	論理的な表現		○	○		
	漢字の読み書き	○		○		
2 学期	9	話し方の工夫	○	○	○	45
		待遇表現	○		○	
		漢字の読み書き	○		○	
	10	評論文	○	○	○	
		情報の探索と選択	○	○	○	
		漢字の読み書き	○		○	
	11	評論文	○	○	○	
情報の探索と選択		○	○	○		
漢字の読み書き		○		○		
12	評論文	○	○	○		
	漢字の読み書き	○		○		
3 学期	1	評論文	○	○	○	25
		情報の探索と選択	○	○	○	
		漢字の読み書き	○		○	
	2	論理的な表現		○	○	
		漢字の読み書き	○		○	
3						

年間予定授業時間数

105

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2.授業時間内のグループワーク 3.毎時間の振り返り(Forms) 4.各学期の考査 以上の4項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	数学					科目	数学 I
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	スタートでつまづかない 新編数学 I (数研出版)

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
小中学校で学んだ基本的な計算方法を確実に習得する。数と式の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数と式を多面的にみたり、目的に応じて適切に変形したりできるようにする。解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学 期	4	正負の数と数直線・絶対値	絶対値の性質	○	○	○	39
		正負の数の大小	数の大小関係	○	○	○	
	5	正負の数の加法	簡単な加法の計算	○	○	○	
		正負の数の減法	簡単な減法の計算	○	○	○	
	6	加法と減法の計算	加法と減法の混じった計算	○	○	○	
		正負の数の乗法	簡単な数の乗法の計算	○	○	○	
	7	正負の数の除法	簡単な数の除法の計算	○	○	○	
四則演算		加減乗除の計算	○	○	○		
2 学 期	9	整式	単項式・多項式	○	○	○	39
		整式の加法・減法	同類項、降べきの順	○	○	○	
	10	整式の乗法・除法	乗法公式	○	○	○	
		展開の工夫	置き換えによる展開	○	○	○	
	11	因数分解	因数分解の公式	○	○	○	
12	いろいろな因数分解	置き換えによる因数分解	○	○	○		
3 学 期	1	実数、平方根とその計算	実数の分類、平方根の計算法則	○	○	○	27
			根号を含む式の計算、乗法公式の利用、分母の有理化	○	○	○	
	2	一次方程式	いろいろな形の一次方程式の解法の復習	○	○	○	
			一次方程式の文章題	○	○	○	
	3	不等式	不等号、不等式の解、数直線	○	○	○	
			不等式の性質、一次不等式の解き方、文章題、連立不等式 不等式の応用問題	○	○	○	

年間予定授業時間数

105

評価の方法	<p>【知識・技能】中間確認テスト、期末確認テスト、学年末確認テスト</p> <p>【思考力・判断力・表現力】中間確認テスト、期末確認テスト、学期末確認テスト、提出物、授業態度</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】出欠席、授業態度、振り返りシート</p> <p>観点別評価は各項目の点数によって評価する。 評定は、各項目の合計点数によって評価する。</p>
備考	<p>使用教科書にもとづいて上記の内容を進めてゆくが、ベーシックの時間においては、学習内容の復習を中心に行うようにし、生徒の実態を見ながら進めていく。</p> <p>年度当初に基礎学力診断テストを行い、科で基準を設けたうえで、Bクラスの人数が30%～40%程度になるように分ける。この計画はABクラス共通である。</p>

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	保健体育					科目	体育
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	ステップアップ高校スポーツ

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
技能について、指示された記録や目標とする動きにおおむね達成している。学習した内容の知識・技能についてよく書き出している。学習した内容の知識・技能についてよく発言している。	自分の考えをよく書き出したり、まとめることができる。自分の考えをよく発言したり、まとめることができる。周りの生徒と協力し、的確なアドバイスをすることができる。	欠席・遅刻なく授業に参加している。ルールを守り、話や支持をよく聞き、準備や片付けを積極的に行う。ことができる。授業を振り返り、客観的に取り組みを見直すことができる。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学期	4	スポーツテスト	各種スポーツテスト			5	
	5	バドミントン/サッカー/柔道・卓球 習熟度で3種目に分かれる	基本技術の習得	○	○	○	11
			個人技能の習得				
	6	体育理論	スポーツの始まりと変遷	○	○	○	10
		水泳	文化としてのスポーツ				
	7		安全に関しての知識				
			クロール	○	○	○	
		平泳ぎ					
2 学期	9	水泳	タイムトライアル			8	
	10	バレーボール	基礎技術の習得	○	○	○	10
		テニス・卓球	個人技能の習得				
	11	バスケットボール	ゲーム				10
		バレーボール	基礎技術の習得	○	○	○	
	12	テニス・卓球	個人技能の習得				2
		バスケットボール	ゲーム				
		体育理論	オリンピックとパラリンピックの意義	○	○	○	
			スポーツが経済に及ぼす効果				
3 学期	1	持久走	マラソン大会に向けての練習			6	
	2	バスケットボール/サッカー/卓球 習熟度で3種目に分かれる	基本技術の習得	○	○	○	6
			個人技能の習得				
	3	体育理論	スポーツとドーピング	○	○	○	2
スポーツと環境							

年間予定授業時間数

70

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力等 ・主体的に学習に取り組む態度等 以上の点を総合的に見て評価する。
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	保健体育					科目	保健
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						1	現代高等保健体育

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
知識・技能を問う問題について、おおむね解答することができる。学習した内容の知識・技能についてよく書き出している。学習した内容の知識・技能についてよく発言している。	思考・判断・表現を問う問題に対して積極的に取り組み、おおむね解答できる。自分の考えをよく書き出したり、まとめることができる。自分の考えをよく発言したりまとめることができる。	欠席・遅刻なく授業に参加している。ルールを守り、話や指示をよく聞きながらも、積極的に自分の意見を発言し、周りの生徒と協力することができる。授業を振り返り、客観的に取り組みを見直すことができる。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	4 現代社会と健康	オリエンテーション				
		健康の考え方と成り立ち	○	○	○	3
	5 現代社会と健康	私たちの健康のすがた				
		生活習慣病の予防と回復	○	○	○	3
	6 現代社会と健康	がんの原因と予防				
		がんの治療と回復	○	○	○	
7 現代社会と健康	運動と健康					
	食事と健康	○	○	○		
2 学期	9 現代社会と健康	休養・睡眠と健康				
		確認テスト対策	○	○	○	
	10 現代社会と健康	喫煙と健康				
		飲酒と健康	○	○	○	4
	11 現代社会と健康	薬物乱用と健康				
		精神疾患の特徴	○	○	○	3
12 現代社会と健康	精神疾患の予防					
	精神疾患からの回復	○	○	○	3	
3 学期	1 安全な社会生活	現代の感染症				
		感染症の予防	○	○	○	
	2 安全な社会生活	性感染症・エイズとその予防				
		健康に関する意思決・行動選択	○	○	○	3
	3 安全な社会生活	健康に関する環境づくり				
		確認テスト対策	○	○	○	4
3 安全な社会生活	事故の現状と発生要因					
	安全な社会の形成	○	○	○	3	
	交通における安全					
3 安全な社会生活	応急手当の意義とその基本					
	日常的な応急手当	○	○	○	3	
	心肺蘇生法					
3 安全な社会生活	確認テスト対策					
	確認テスト	○	○	○	3	
	答案返却					

年間予定授業時間数

35

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 ・主体的に学習に取り組む態度等 ・各学期確認テスト 以上の点を総合的に見て評価する。
備考	

年間授業計画

令和5年度 教科[キャリアデザイン] 科目[体験 I] 講座名[中国語講座]

No. _____

クラス又は班	中国語講座(前期)	中国語講座(後期)			単位数	使用教科書・教材
担当者					2	中国語 はじめの一步 白水社

教科・科目のねらい(目標)	最新の中国事情を習いながら、中国語の基礎力を身に付け、中国への関心を持つようにする。
---------------	--

学期	(月)	指導項目	指導内容	予定時数	
1 学 期	4	発音	四声、母音、子音、簡体字などを特徴をとらえながら指導する。	25	
	5	「あなたは中国人ですか」	中国の教育事情 人称代名詞「AはBである」「不」の声調の変化		
	6	「これは何？」	「何」「誰」疑問詞、疑問文「いの」の使い方 副詞「也」について学ぶ		
	7	「あなたはどこに行きますか？」	中国の高校、大学の様子 「動詞」の文を中心に学ぶ		
2 学 期	9	「自己紹介」	簡単な自己紹介文を書き、中国語で発表する。	30	
	10	発音	四声、母音、子音、簡体字などを特徴をとらえながら指導する。		
	11	「あなたは中国人ですか」	中国の教育事情 人称代名詞「AはBである」「不」の声調の変化		
	12	「これは何？」	「何」「誰」疑問詞、疑問文「いの」の使い方 副詞「也」について学ぶ		
3 学 期	1	「あなたはどこに行きますか？」	中国の高校、大学の様子 「動詞」の文を中心に学ぶ	15	
	2	「自己紹介」	簡単な自己紹介文を書き、中国語で発表する。		
	3	「まとめ」	まとめ		
				年間予定授業時間数	70

評価の観点・方法	
----------	--

備考	授業は、前期と後期に分かれ、内容は同一。
----	----------------------

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	体験 I					科目	ストリートダンス
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
ストリートダンスを体験することにより、ダンスを楽しむ心やダンスの技能能力を身に付ける。	ストリートダンスやコーチングに関する課題を発見し、スポーツに携わる者として科学的な根拠に基づきスポーツ指導者技術の進展に対応し解決する力を養う。	ストリートダンスの技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、体育の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学期	ガイダンス(前期)	ダンスを学ぶ上での注意事項の確認				20	
	ダンス	ストリートダンスの基礎技術	○	○	○		
	ダンス	ストリートダンスの基礎技術	○	○	○		
	ダンス	ストリートダンスの基礎技術	○	○	○		
	ダンス	ストリートダンスの基礎技術	○	○	○		
	ダンス	ストリートダンスの基礎技術・指導法	○	○	○		
2 学期	ダンス	ストリートダンスの基礎技術・指導法	○	○	○	35	
	ガイダンス(後期)	ダンスを学ぶ上での注意事項の確認					
	ダンス	ストリートダンスの基礎技術	○	○	○		
	ダンス	ストリートダンスの基礎技術	○	○	○		
	ダンス	ストリートダンスの基礎技術	○	○	○		
	ダンス	ストリートダンスの基礎技術・指導法	○	○	○		
3 学期	ダンス	ストリートダンスの基礎技術・指導法	○	○	○	15	
3	※ 上記の6項目をローテーションして実習形式の授業を行う						
						年間予定授業時間数	70

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫) 3.報告書(内容、提出状況) 以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	体験 I					科目	スポーツリーダー・コーチ体験
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
スポーツリーダーやコーチングを体験することにより、リーダーの育成やコミュニケーション能力を高め関連する技術を身に付けるようにする。	スポーツリーダーやコーチングに関する課題を発見し、スポーツに携わる者として科学的な根拠に基づきスポーツ指導者技術の進展に対応し解決する力を養う。	スポーツリーダー・コーチ技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、体育の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数		
			知	思	態			
1 学 期	4	ガイダンス(前期)				20		
		バドミントン	○	○	○			
	5	バスケットボール	○	○	○			
	6	サッカー	○	○	○			
	7	バレーボール	○	○	○			
	2 学 期	9	フットサル	○	○		○	35
			ガイダンス(後期)					
10		バドミントン	○	○	○			
11		バスケットボール	○	○	○			
12		サッカー	○	○	○			
3 学 期		1	フットサル	○	○	○	15	
	2							
	3	※ 上記の6項目をローテーションして実習形式の授業を行う						

年間予定授業時間数

70

評価の方法	<p>1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等)</p> <p>2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫)</p> <p>3.報告書(内容、提出状況)</p> <p>以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	キャリアデザイン					科目	体験Ⅰ(共通)
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
各現象を体験することにより、経験者の育成やコミュニケーション能力を高め関連する技術を身に付けるようにする。	体験Ⅰに関する課題を発見し、携わる者として、技術の進展に対応し解決する力を養う。	体験Ⅰに関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学期	ガイダンス(前期)	ガイダンス	○	○	○	
	各分野の体験	各分野の体験	○	○	○	
	コミュニケーション能力の育成	生徒同士の話し合い	○	○	○	
	各分野の課題発見	各分野の課題の発見	○	○	○	20
	解決方法の模索①	生徒同士絵の解決方法の話し合い	○	○	○	
	解決方法の模索②		○	○	○	
	解決方法の決定	解決方法の決定	○	○	○	
2 学期	まとめ①	生徒同士の話し合い、発表	○	○	○	
	ガイダンス(後期)	ガイダンス	○	○	○	35
	各分野の体験	各分野の体験	○	○	○	
	コミュニケーション能力の育成	生徒同士の話し合い	○	○	○	
	各分野の課題発見	各分野の課題の発見	○	○	○	
	解決方法の模索①	生徒同士絵の解決方法の話し合い	○	○	○	
3 学期	解決方法の模索②		○	○	○	
	解決方法の決定	解決方法の決定	○	○	○	15
	まとめ①	生徒同士の話し合い、発表	○	○	○	
	まとめ②	生徒同士の話し合い、発表	○	○	○	

年間予定授業時間数

70

評価の方法	<p>1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等)</p> <p>2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫)</p> <p>3.報告書(内容、提出状況)</p> <p>以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	体験 I					科目	洋菓子製作
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
製菓実習を体験することにより、製菓製作能力の育成やコミュニケーション能力を高め関連する技術を身に付けるようにする。	製菓製作や飲食業界に関する課題を発見し、洋菓子製作に携わる者として、洋菓子製作の育成技術の進展に対応し解決する力を養う。	飲食業界に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、洋菓子制作の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学期	4	オリエンテーション(前期)	○	○	○	20	
		製菓実習	○	○	○		
	5	製菓実習	くるくるクッキー	○	○		○
			メロンパン風クッキー	○	○		○
			バナナマフィン	○	○		○
	6	製菓実習	オレオマフィン	○	○		○
			スコーン	○	○		○
7	製菓実習	ブラウニー	○	○	○		
		マドレーヌ	○	○	○		
		フィナンシェ バイクチーズケーキ	○	○	○		
2 学期	9	製菓実習	○	○	○	35	
		オリエンテーション(後期)	○	○	○		
	10	製菓実習	サクサクチョコクッキー	○	○		○
			くるくるクッキー	○	○		○
			メロンパン風クッキー	○	○		○
	11	製菓実習	バナナマフィン	○	○		○
			オレオマフィン	○	○		○
12	製菓実習	スコーン	○	○	○		
		ブラウニー	○	○	○		
		マドレーヌ	○	○	○		
3 学期	1	製菓実習	フィナンシェ	○	○	○	15
			バイクチーズケーキ	○	○	○	
	2	製菓実習	ウイークエンドシトロン	○	○	○	
			パイ菓子	○	○	○	
	3						

年間予定授業時間数 70

評価の方法	<p>1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等)</p> <p>2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫)</p> <p>3.報告書(内容、提出状況)</p> <p>以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。</p>
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	公民					科目	公共
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	高等学校 公共 これからの社会について考える(数研出版) ライブ！2023 公共、現代社会を考える(帝国書院) 基本地図帳(二宮書店)

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力、合意形成や社会参画を視野に入れ、構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数
			知	思	態	
1 学 期	4 公共的な空間における基本原理	私たちが共有すべき価値とは 民主社会の基本原理	○	○	○	30
	5 公共的な空間における基本原理	民主政治と基本的人権 多数決はベストな決め方	○	○	○	
	6 公共的な空間における基本原理	日本国憲法と基本原理 社会権・参政権・請求権	○	○	○	
	7 1学期末確認テスト 公共的な空間における基本原理	人権の広がり 世界の政治制度	○	○	○	
2 学 期	9 ルールをつくり守る私たち	法と契約 司法参加の意義	○	○	○	32
	10 政治に参加する私たち	政治参加と民主政治の課題 国際政治の動向	○	○	○	
	11 政治に参加する私たち	国際政治の課題と日本の役割	○	○	○	
	12 2学期末確認テスト 経済活動を行う私たち	経済のしくみと産業の変化 市場経済のしくみと金融	○	○	○	
3 学 期	1 公共的な空間をつくる私たち 公共的な空間における人間としての在り方生き方	大人ってどんな人？ 西洋近現代の思想 誰もが生きやすい社会へ	○	○	○	8
	2 持続可能な社会づくりの 主体となる私たち	課題探究の観点 課題探究の手引き	○	○	○	
	3 学年末確認テスト まとめ		○	○	○	

年間予定授業時間数

70

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 【知識・技能】中間確認テスト、期末確認テスト、学年末確認テスト 【思考力・判断力・表現力】中間確認テスト、期末確認テスト、学期末確認テスト、提出物、授業態 【主体的に学習に取り組む態度】出欠席、授業態度、振り返りシート 観点別評価は各項目の点数によって評価する。 評定は、各項目の合計点数によって評価する。
備考	

令和5年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	理科					科目	科学と人間生活
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						2	実教出版「科学と人間生活」 第一出版「スクエア最新図説化学」
教科・科目のねらい(目標)							
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】			【主体的に学習に取り組む態度等】	
物質とその変化についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。			観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。			物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	
学期(月)	指導項目	指導内容	評価基準			予定時数	
			知	思	態		
1 学 期	4	物質の構成元素	身近な物質				22
		物質の成分	混合物と純物質	○	○	○	
	5	物質の成分	【実験】ガスバーナー				
		混合物の分離と精製		○	○	○	
		物質の構成元素	【実験】混合物の分離				
	6	化合物と単体		○	○	○	
		成分元素の確認					
確認テスト							
7	状態変化と熱運動		○	○	○		
2 学 期	9	原子の構造	原子と原子の構成、同位体				30
		電子配置と価電子		○	○	○	
	10	【実験】炎色反応と固形燃料					
		元素の相互関係	元素の周期表	○	○	○	
		物質と化学結合	イオン				
	11	イオン結合とイオン結晶					
		酸化還元と電池		○	○	○	
12	【実験】電池のしくみ						
	確認テスト						
3 学 期	1	分子と共有結合	共有結合、構造式、分子の形				18
		金属と金属結合	金属結合と金属結晶	○	○	○	
	2	酸と塩基	酸と塩基、pH				
		【実験】身近な酸と塩基		○	○	○	
		確認テスト					
	3						
						年間予定授業時間数	70
評価の方法	1. 授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2. 実験、実習(実験の取り組み、課題の出来ばえ、創意工夫等) 3. 提出物(授業プリント、ノート、実験レポートの提出と取り組み状況) 4. 小テスト(单元ごとに実施) 5. 確認テスト(学期に3回実施) 以上の5項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。						
備考							